

音楽

第 1 学年

育成を目指す資質・能力 【情報分析力】【主体性】

題材名

## 音楽で描かれた情景を鑑賞しよう ～ヴィヴァルディ『四季』より第一楽章『春』～

### 【題材の概要】

本題材は中学校に入って初めての鑑賞の授業です。『クラシック音楽って面白いの?』という生徒のつぶやきから、ゲーム音楽とヴィヴァルディ作曲『春』のつながりを見付けることをきっかけに、『春』の音楽に興味・関心をもちます。ゲーム音楽も『春』のどちらも情景を描写した音楽であることを知り、『春』はどのような情景をどのように音楽で表しているのか探っていきます。時代背景等とも関わらせながら聴き深めていき、最後には、「クラシック音楽って面白いの?」と言った生徒に『春』の面白さを伝えるための紹介文を書きます。

学習指導要領における領域・内容

B鑑賞 ア

他教科等との関連

社会

### ◆題材の目標

音楽を聴いた時のイメージや、ソネットに記してある情景と音楽の特徴を関連付けながら鑑賞することができる。

### ◆題材の展開（全3時間）

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p><b>課題の設定 (0.5)</b></p> <p>ゲーム音楽を聴き、音楽が変化することで場面や情景が変わったことが感じられることに着目する。</p> <p>『春』の冒頭の部分を聴いて、どんな場面や情景を想像したかななどを交流する。</p> <p>ゲーム音楽と『春』のつながりから、『春』の音楽をくわしく知りたいという思いをもつ。</p>	<p>○この曲は、旅をしている途中で敵に会った場面だね。こわい感じがするね。 ○これは村の中の音楽だ。優しい感じだね。 ○ゲーム音楽って、音楽を聴くだけで場面が想像できるね。</p> <p>○小鳥が鳴いている様子を思い浮かべたよ。 ○ヴァイオリンの音がさわやかな感じがするね。 ○明るくて元気な感じがして、『春』という感じがしたよ。 ○ゲーム音楽と同じように、『春』の音楽でも、音楽を聴くだけで『春』が想像できるね。</p> <p>「ゲーム音楽」も『春』も、音楽を聴いて場面が想像できることを実感している。</p> <p>○「春」は約350年前につくられた音楽なんだ。 ○約350年前から場面や情景を表す音楽ってつくられていたんだね。 ○「春」はどんな場面や情景を表しているんだろう。約350年前は音楽でどうやって場面や情景を表していたんだろう。</p> <p>「ゲーム音楽」と「春」のつながりを知り、「春」の音楽はどのような場面や情景をどのような音楽で表しているのか探ろうという学習課題を主体的に見付けている。</p>	<p>■本題材では、「クラシック音楽って面白いの?」という生徒のつぶやきから、クラシック音楽に苦手意識があると捉え、生徒の身近にあるゲーム音楽を活用する。「場面や情景を描写した音楽」という点に着目し、場面を顕著に表しているゲーム音楽を導入で使用した。</p> <p>■今の私たちの生活の中にある「ゲーム音楽」と、約350年前につくられた「春」は、どちらも場面や情景を音楽で表すという手法で音楽がつけられていることを知らせる。</p>
<p>どのような場面や情景をどのように音楽で表しているのか探り、『春』の面白さを伝えよう。</p>		

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p data-bbox="194 165 496 199"><b>情報の収集・整理・分析 (1.5)</b></p> <div data-bbox="172 221 480 376" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>『春』の第1楽章を聴いて、どんな場面や情景か想像し、なぜそのようにイメージしたのか理由を交流する。</p> </div> <div data-bbox="172 909 480 994" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>『春』の曲想と音楽の構造との関わりについて整理する。</p> </div> <div data-bbox="172 1357 480 1420" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>さらに知りたいことや疑問に思うことを出し合う。</p> </div> <div data-bbox="172 1727 480 1868" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>知りたいことや疑問に思うことを解決するために、映像を見ながら『春』を聴き、気付いたこと等を出し合う。</p> </div>	<p data-bbox="533 165 608 199"><b>(1.5)</b></p> <div data-bbox="507 221 1011 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○「小鳥は楽しい歌で、春を歓迎する」のソネットでは、鳥の鳴き真似みたいなフレーズがあった。一羽の鳴き声をまねているみたいところがあった。</p> <p>○場面が切り替わる時に「春がやって来た」のソネットの旋律がちょっとずつ変化しながら出てきた。</p> <p>○「黒雲と稲妻が空を走り、雷鳴は春が来たことを告げる」のシーンは、ヴァイオリンのソロが、雷がピカッと光る部分を担当して、他の人は低い音で雷がゴロゴロ鳴る部分を担当していた。曲調が暗くなったので、空が曇って、雨が降る場面を表していると思った。全体に強く演奏されていて、雨が激しい感じを出していた。</p> <p>○「嵐がやむと、小鳥はまた歌い始める」のソネットでは、暗い曲調がだんだんともとの明るい曲調にもどっていくことで表現していた。一度静かになってからだんだん楽器が増えていくから、雨が上がって明るくなっている感じになる。</p> </div> <div data-bbox="507 824 1011 891" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ソネットと音楽を結び付けながら聴き、音楽を形づくっている要素に着目して聴いている。</p> </div> <div data-bbox="507 913 1011 1227" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○明るいところが長調で暗いところが短調ということが分かった。曲調を明るい→暗い→明るいというように変化させることで、ソネットのそれぞれの場面の变化がよく分かる。</p> <p>○みんなで一緒に演奏するところと、ヴァイオリンが一人で演奏するところを作って場面を変化させていた。</p> <p>○強弱を変化させて場面を変化させていた。特に「黒雲と稲妻が…」のソネットでは、全ての楽器がfで演奏し、場面がイメージしやすかった。</p> </div> <div data-bbox="507 1249 1011 1339" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>場面の变化と音楽を形づくっている要素の関わりについて音楽用語を用いて自分なりに説明している。</p> </div> <div data-bbox="507 1361 1011 1630" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○どんな楽器が使っているか気になるのでそれを知りたい。トライアングルみたいな音の楽器は何だろう。</p> <p>○なぜ『春がやって来た』の旋律が何度も出てくるのだろう。</p> <p>○全体のタイトルが『四季』だから、他の季節の曲もあるのではないか。『春』以外の季節も聴いてみたい。</p> <p>○『春』を作った人について知りたい。</p> </div> <div data-bbox="507 1653 1011 1720" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>『春』をくわしく知ったことで、もっと深く音楽を知りたいという意欲が出てくる。</p> </div> <div data-bbox="507 1742 1011 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ヴァイオリン以外の弦楽器が使っていた。だから高い音や低い音が聴こえ、小鳥が歌う様子から稲妻や雷鳴が表せたんだ。</p> <p>○全体的に人数が少ないと思った。ヴァイオリンの人は、ソロと指揮者の両方をやっていた。指揮者がいなくてもいいのか。</p> <p>○真ん中のピアノみたいな楽器は何だろう。</p> </div> <div data-bbox="507 1966 1011 2033" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ソネットと音楽を結び付けながら聴き、音楽を形づくっている要素に着目して聴いている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「クラシック音楽の鑑賞って面白いの？」とつぶやいた生徒がいたことを知らせ、この生徒に『春』の面白さを伝える紹介文を書くことを知らせる。</li> <li>■『春』にソネットという詩がついており、今聴いたところは「春がやって来た」という部分であることを伝える。</li> <li>■ソネットの内容を確認してから『春』を鑑賞させる。五つのソネットの場面を表現するために、音楽がどのように変化しているか、工夫を見付けるように伝え、鑑賞の視点を与える。</li> <li>■各ソネットをどのように音楽で表現していたか、生徒の意見を基に板書する。</li> <li>■キーワードになる意見について「共感できる人」と問いかける。また「トライアングルみたいな音がした」等、多くの生徒が気付きにくい部分は、その部分だけをもう一度聴き、全体で確かめ共有する。</li> <li>■生徒が聴き捉えたことを基に、理解させたいこと（強弱等に関する音楽用語、調性、楽器の音色、旋律等）について説明する。</li> <li>■書きにくい生徒へは、板書に残している音楽を形づくっている要素「旋律」「音色」「音程」「強弱」等のうち、どれが分かりやすかったか聞き、分かりやすかったものからまとめさせる。</li> <li>■自分で調べ学習をしてきてもよいことを伝える。</li> <li>■演奏している映像を見て理解が深まったところ、更に疑問が増えたところを生徒から引き出す。</li> </ul>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p>さらに疑問を解決するために、バロック時代の音楽の特徴などに関わらせながら、『春』の特徴を整理する。</p>	<p>○独奏楽器と合奏の関係で作られている曲を協奏曲というのか。協奏曲は、強弱や音の厚み等に差をつけることができるから、ソネットの情景や場面を表しやすいと思った。</p> <p>○真ん中のピアノみたいな楽器は、チェンバロっていうんだ。チェンバロはギターみたいな音がするね。</p> <p>○「春がやって来た」の旋律が何度も出てくるのは、この時代の音楽の形式である「リトルネッロ形式」でつくられているからなんだ。何度も出てくるから春のうれしさが印象付けられるのだと思った。</p> <p>○『春』をつくった人はイタリアの人なんだ。イタリアは春に雷が鳴るんだね。日本の春の様子とは違うね。</p> <p>『春』について更に理解し、『春』の面白さを感じている。</p>	<p>■生徒の中で『春』の楽器や形式等について調べて来た生徒がいたら、発表させる。</p> <p>■生徒の疑問や気付きを基に、バロック時代の特徴について説明する。必要に応じて、写真や音色を比較させたりしながら、時代によって楽器や演奏形態が変化することに気付かせる。</p> <p>■独奏ヴァイオリンの演奏の特徴が分かるよう板書し、教科書の中に書いてある、「協奏曲」の形式の説明と、生徒が聴き取った特徴が一致することに気付かせる。</p> <p>【社会】担当教員と連携し、イタリアの気候を想起させる。</p>
<p><b>まとめ、振り返り（1）</b></p> <p>『夏』、『秋』、『冬』それぞれの3楽章の冒頭部分を比較して聴き、「冬」のソネット（「外は大雨が降っているが、家の中は暖炉が燃えていて平和な時間が流れる」）に当てはまる曲を見付ける。</p> <p>「クラシック音楽の鑑賞って面白いの？」とつぶやいた生徒に『春』の面白さを伝える紹介文を書き交流する。</p>	<p>○1曲目は速度が速すぎて、「平和な時間が流れる」のソネットには合わないよ。</p> <p>○3曲目は独奏ヴァイオリンが滑らかに演奏していて平和を感じる、その他の弦楽器が一定のリズムで演奏し、雨を表していると思った。</p> <p>『春』で学習した鑑賞の仕方を使って、他の曲も鑑賞することができるようになっていく。</p> <p>○私がこの曲で一番好きなところは、最初の「春がやって来た」のところよ。長調で弾むリズムで弦楽器が演奏して、春が来るうれしさが感じられるところがいいな。</p> <p>○僕は「黒雲と稲妻」のところがいいな。コントラバスが低音で短調で演奏していて、不気味さがよく出ている。そこに鋭くヴァイオリンが入ってきて稲妻の感じがとても伝わってくるよ。</p> <p>○ゲーム音楽でも不気味な時は低音や短調で表すよね。350年前も今のゲーム音楽も、同じことをやっているってところが面白いね。</p> <p>学習したことを使って、自分なりの『春』の良さを説明できるようになっている。</p>	<p>■最初に冬のソネットを確認し、3曲をグループで比較聴取させる。なぜその曲を選んだか、なぜ他の曲はソネットと一致しないと思ったか説明させる。その際、これまでに学んだ音楽用語を使って説明するよう促す。</p> <p>■個人思考を行った後、ペアでどんな内容にしようと考えているか伝え合う。その後更に個人思考の時間をとり、紹介文を完成させる。</p> <p>■グループで紹介文を交流し合う。</p>

### 【児童生徒の変容】

当初「クラシック音楽って面白いの？」が発点だったが「これはどうしてなんだろう？」、「あ！もしかしてこのこと？」等、生徒のつぶやきがたくさん生まれ、鑑賞活動への主体性の高まりが見られた。また、生徒達は音楽を形づくっている要素を使って説明することができなかったが、自然とそれらの言葉を使って説明するようになった。また、最初は、感じ取った理由を「強弱」のみで説明していたが、学習の終わりでは「強弱」と「旋律」の関わりから曲想が生まれている等、様々な音楽を形づくっている要素の特徴や関係性について説明できるようになった姿から、情報分析力が高まった様子が分かった。また、クラシック音楽を苦手に感じていた生徒は、音楽の聴き方を学んだことで、他のクラシック音楽を聴いてみたいという意欲が出始めた。